

**平成27年度  
第5回 大阪府医療勤務環境改善支援センター研修会  
医療従事者のWLB等にかかる研修会  
－ みんなの職場をみんなで『KAIZEN』－**

日 時：平成28年3月4日(金) 14:00～16:40  
場 所：大阪府病院年金会館 地階 コンベンションルーム  
参加人数：143名(理事長・院長、事務長、看護部長等 92病院から参加)

【開会あいさつ】大阪労働局 労働基準部長 高井吉昭

I 講演「女性活躍推進法について」

講師：大阪労働局 雇用均等室長 森實久美子  
講演内容：女性活躍推進法の概要  
1. 自社の女性の活躍状況の把握・課題分析  
2. 一般事業主行動計画の策定・届出、社内通知、公表  
3. 自社の女性の活躍に関する情報の公表と女性活躍推進に関する認定

II 事例報告「医療勤務環境改善の取り組み事例報告」

- ①「メンタルヘルスケアを中心とした働きやすい職場作り」  
発表者：ベルランド総合病院 管理課 課長 上野久美子氏  
1. 勤務環境改善の取組、健康管理支援  
2. 育児・介護等支援  
3. 育児両立支援(院内保育園)  
4. メンタルヘルスケア対策
- ②「多様な働き方をする勤務体制・チーム医療の推進による働き甲斐の醸成」  
発表者：白鷺病院 看護部部长 黒田美津恵氏  
1. 医療提供体制に応じて働き続けられる職場(職員の確保)  
2. 就業規則委員会  
3. 勤務時間の免除・制限申請  
4. 基本給のマイナスポイントの考え方  
5. 夜勤交代制勤務の課題
- ③「病院の勤務環境に関するアンケート調査結果報告」  
発表者：大阪府医療勤務環境改善支援センター 相談員 茶木隆子  
○速報版報告  
I. 働き方・休み方改善  
II. 職員の健康支援  
III. 働きやすさ確保のための環境整備  
IV. 働き甲斐の向上  
V. 勤務環境改善の取組について

- III 講演「大阪府看護協会のWLB推進事業6年間の取り組みについて」  
講師：大阪府看護協会 労働環境支援事業部 部長 増田紀子氏  
1. ワーク・ライフ・バランスの歴史、必要性  
2. ワーク・ライフ・バランスに対する誤解 ①～⑥  
3. 「看護職のWLB」6年間の取り組み  
4. 参加施設が抱える主な課題と課題に対する取り組み  
5. 成果を上げた病院に共通すること

- IV シンポジウム「みんなの職場をみんなで『KAIZEN』」  
座長：大阪府看護協会 WLB推進委員会 委員長 福田峰子氏

「ケア業務の他職種への委譲と尊重」  
シンポジスト：辻本病院 看護部長 星田朋子氏  
・ケア業務の整理と移譲(委譲)  
・自施設の「強み」を生かした業務調整  
・インデックス調査(看護師)3年間の推移

「看護職のWLBを全職種へ」  
シンポジスト：彩都リハビリテーション病院 看護部長 竹内明日子氏  
・WLBインデックス調査-調査分析  
・3年間のアクションプラン  
・結果(経営・組織、上司について、仕事の満足度)

「みんなの思い かたちになるよ」  
シンポジスト：浜寺病院 看護部長 廣田峯子氏  
・病院経営陣を巻き込む  
・現場の生の声を反映  
・管理職の意識が変化した-経営に貢献-

「看護職の定着が病院経営のカギ」  
シンポジスト：東大阪市立総合病院 看護局次長 矢崎ゆかり氏  
・看護局がWLB推進運動をおこなっていることが市議会で報告された  
・採用者数が増え、離職率が低下し、看護職員が定着した  
・院内保育所の定数拡大と病児入院は育児休業からの早期復帰につながっている

【閉会あいさつ】大阪労働局 労働基準部 労働時間課長 安富 彰

講演所感  
・女性活躍の新たな、支援センターの事例報告とアンケート速報、大阪府看護協会WLB事業の実績報告など中身の濃い話が聞けた。シンポジウムでは受講者から熱心な質疑応答がみられた。  
・院長・理事長をはじめ、事務長、看護部長など多数の病院管理者に受講いただけ、勤務環境改善に着手するきっかけ作りの参考になる有意義な研修会であった。

記：吉村孝仁(センター相談員)



高井吉昭氏 森實久美子氏 上野久美子氏 黒田美津恵氏 増田紀子氏 福田峰子氏 星田朋子氏 竹内明日子氏 廣田峯子氏 矢崎ゆかり氏